

造血器腫瘍における検体保存の基盤構築

1. 研究の対象

本研究計画の研究許可日～2027年3月31日に、国立がん研究センター東病院を受診され、造血器腫瘍が強く疑われる方や造血器腫瘍と診断された方。

2. 研究目的・方法

本研究では、将来的に患者さんの組織を用いた研究を行う必要が出てきた場合に備えて、あらかじめ余剰の組織を保管しておくことを目的とします。本研究で保管された組織を用いた、将来的な研究により、造血器腫瘍の特性や新薬の開発につながる重要な結果が判明することが期待できます。

具体的には、血器腫瘍が強く疑われる方や造血器腫瘍と診断された方のうち、病名の確定や再発の判定のために組織を取る検査を行い、必要な臨床検査に提出した後、その余り（余剰）が得られた場合に、余剰組織を凍結保存するというものです。凍結保存する前に、保存の効率が良くなるように処理を行うことがあります。本研究で保存された組織は、今後計画される研究で使用されますが、その場合は研究ごとに情報公開や同意取得などの手続きがとられます。研究実施期間は、10年間です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：リンパ節、末梢血、骨髄液、体腔液、便・尿 等

情報：病歴、化学療法の治療歴とその治療効果 等

試料は匿名化された番号で管理されます。カルテ番号と匿名化番号の対照表は、情報管理責任者が厳重に管理します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科 湯田淳一郎

FAX 04-7131-5390/TEL 04-7133-1111

研究責任者：

国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科 南陽介